

地域医療構想調整会議における取組状況

圏域名

南檜山

タイトル

地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワークの進捗状況について

【概要】

- 人口減少と高齢化が急速に進行する南檜山圏域では、限られた医療資源を効果的かつ効率的に活用しながら、圏域全体で将来にわたり持続可能な医療提供体制の構築に向けて取り組んでいくため、地域医療構想専門部会において協議を重ね、令和2年3月に「南檜山圏域の医療を確保するための行動方針」を作成。
- この行動方針に基づき、関係者が一体となって相互間の機能分担及び業務連携を進め、住民が将来にわたり住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受け続けられる体制の構築を目指し、令和2年9月に道と南檜山管内の5町と民間医療法人による地域医療連携推進法人「南檜山メディカルネットワーク」を設立。
- また、同年8月に当圏域が重点支援区域に選定され、国の支援も活用しながら、医療提供体制の構築を目指している。

【主な経過】

- 2年3月 「南檜山圏域の医療を確保するための行動方針」の合意
国への重点支援区域の申請の合意（2年4月に申請）
- 2年8月 国の「重点支援区域」選定
- 2年9月 地域医療連携推進法人の認定

【法人の概要】

- 名 称 地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワーク
- 医療連携区域 北海道地域医療構想に定める南檜山区域
- 社 員 北海道、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町
医療法人道南勤労者医療協会、医療法人雄心会、医療法人社団恵愛会
- 連携推進業務 医療機能の分担・業務連携、患者紹介・逆紹介の円滑化、
医療従事者の相互交流・派遣応援、高額医療機器の共同利用、
薬品・医療材料等の共同価格交渉、
介護事業等の連携を推進するための事業 等

【令和4年度の主な取組】

- 診療連携部会の実施
 - 法人事業に現場の意見を反映させ、効果的で実効性の高い取組を推進することを目的に各医療機関の院長等をメンバーとした部会を開催した。令和4年度は2回開催。
- ドクターズミーティングの実施
 - 道立江差病院の専門医と圏域内の医師との意見交換を実施（総合診療、循環器、整形の3回開催）し、顔の見える関係の構築と日々の診療における情報共有を図った。
- 人材交流の実施
 - 地域の医療体制を確保するため、法人内の人事交流に係る基本的事項をとりまとめ、これに基づきメディカルネットワークを含めた派遣元・派遣先との3者協定を締結。厚沢部町国保病院から乙部町国保病院へ応援医師を派遣（R4.7.1～R5.3.31）した。
- 重点支援区域データ分析
 - 国の支援を活用し、入院医療の現状に関する医療機関へのヒアリングとデータ分析を実施。
- 地域体験研修の受入
 - 札幌医科大学地域医療研究教育センターと連携し、道立江差病院で実習する医学生及び初期臨床研修医について、地域医療や南檜山への関心を高めてもらうことを目的として、「地域体験研修」として各町が持ち回りで受入。医療・福祉施設や歴史的・文化的施設の見学を行った。（18名参加）

【令和5年度の主な取組（予定）】

- 病床機能検討委員会の設置
 - 医療現場と行政機関が一体となり、圏域内の医療機能分担や業務連携、病床機能の検討を推進する場を設置する。
 - 検討に当たっては、法人基礎調査や重点支援区域のデータ分析などを活用。
- 在宅医療調査の実施
 - 圏域内における地域包括ケアの体制を構築するため、在宅医療のニーズ調査を行い、各関係機関と連携の上、必要な診療体制の検討を進める。
- 診療連携部会の実施
 - 法人事業に現場の意見を反映させ、効果的で実効性の高い取組を推進することを目的に各医療機関の院長等をメンバーとした部会を開催する。
- ドクターズミーティングの実施
 - 顔の見える関係の構築と日々の診療における情報共有を図るため、道立江差病院の専門医と圏域内の医師との意見交換を実施する。
- 地域体験研修の受入
 - 札幌医科大学地域医療研究教育センターと連携し、道立江差病院で実習する医学生及び初期臨床研修医について、地域医療や南檜山への関心を高めてもらうことを目的として、「地域体験研修」として各町が持ち回りで受入。医療・福祉施設や歴史的・文化的施設の見学を実施する。（R5.6月末現在で7名参加）

